

News Letter

Office for Gender Equality, Toyama University

2012.10
第2号

TOPICS

- 活動報告
- 募集中
- 活動紹介
- リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る富山大学のいろいろ

チューリップの
花言葉は、
愛・思いやりです



活動報告 夏季学童保育を開催しました

五福
キャンパス

開催日: 7月25日(水)~31日(火)
会場: 人間発達科学部 技術・美術棟

杉谷
キャンパス

開催日: 8月1日(水)~7日(火)
会場: 医学部看護学科棟 研修室

今年から杉谷キャンパスでも開催しました。期間もこれまでの2倍の2週間実施しました。参加者は44家族52名のべ185名で過去最高の人数でした。



7つのサマーわくわく教室を実施しました

液体窒素と磁石であそぶ

水島 俊雄 先生 (大学院理工学研究部 (理学))

ソーラーパワーでロボットコントロール

戸田 英樹 先生 (大学院理工学研究部 (工学))

植物と昆虫

岩坪 美兼 先生 (大学院理工学研究部 (理学))

折り紙でいろいろな形を作ってみよう

川部 達哉 先生 (大学院理工学研究部 (理学))

ロボット教室

理・工・医の各学部の技術職員

民族薬物資料館見学

伏見 裕利 先生 (和漢医薬学総合研究所 (民族薬物資料館))

命の営み—妊婦ジャケット着用体験

永山 くに子 先生 (大学院医学薬学研究部 (医学))

ご協力いただきました先生方、お忙しいところありがとうございました。

五福
キャンパス



杉谷
キャンパス



掲載されました

- 『夏季学童保育で科学実験に歓声』富大 富山新聞7/26(木)朝刊23面
- 『教職員の子ども対象に夏季学童保育(富山大)』文教速報8/24(金)第7765号

男女共同参画推進室セミナー「留学して研究するということin五福」を開催しました

開催日：7月18日(水)

会場：黒田講堂会議室

●中村真由美(経済学部・経済学科・准教授)

「文系の留学—学部における交換留学と博士課程における留学—」

●伊野部智由(先端ライフサイエンス拠点(工学系)・特命助教)

「最近のアカデミアキャリアアップ事情」

●倉光英樹(大学院理工学研究部(理学)・生物圏環境科学科・教授)

「アメリカでのポスドク生活よもやま話」



伊野部先生



倉光先生



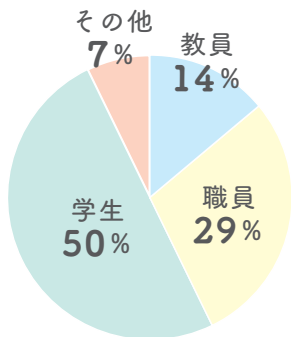
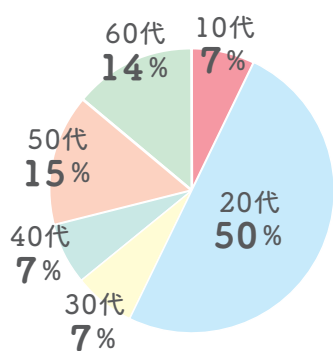
平成24年7月18日(水)午後1時半より、本学の3名の先生によるセミナーを開催し、研究者としてのキャリア形成に関する貴重なお話をうかがいました。学生、教職員ら31名の参加者があり、活発な意見交換が行われました。

経済学部・中村真由美先生からは、学部、博士課程においてアメリカの2つの大学で研鑽を積まれた中での努力や体験談を、先端ライフサイエンス拠点(工学系)・伊野部智由先生からは、留学に至る経緯や研究に向かう姿勢、本学をはじめ日本で導入され始めているテニュアトラック制度についての説明を、大学院理工学研究部(理学)・倉光英樹先生からは、留学を志した時の心境や留学先で得たも

の、ワーク・ライフ・バランスのために心がけていらっしゃるなど、ユーモアを交えてお話しいただきました。演者の先生方からの「ぜひ留学に挑戦してほしい!」という力強いメッセージに、参加者の方たちも大いに刺激を受けた様子でした。

参加後のアンケート回答では、「若手研究者が知りたいことを詳しく聞けた」、「留学の意味を知ることができた」、「留学に挑戦する気持ちが強くなった」など、若い世代の前向きな意見が多数あっただけでなく、「学生たちの意欲を高める指導につなげたい」などの指導者側からの意見も寄せられ、本セミナーが大変有意義であったことがうかがえました。

受講後アンケート結果



受講後の意識の変化について……

- 留学を目指す気持ちが一段と強くなりました。
- 修士や博士の学生達に、世界に飛び出す意欲を出させる教育指導を新たな気持ちで行いたいです。

参加者内訳について……

今回のセミナー参加者は、学生を中心とした20歳代以下の若年層の参加者比率が約6割でした。

内容について……

- 男女でキャリア形成とライフスタイル形成へのプレッシャーの違いがあるようにも思いました。
- 若手研究者が知りたいこと、(金銭面)など詳しく話していただき参考になりました。
- 男女共同参画の具体例(研究者同士、研究者とパートナーとの生活)を聞かせていただき参考になりました。
- いろいろな専門分野の方にとっての留学の意味を知ることができ参考になりました。

サンフォルテフェスティバル2012に参加しました

開催日：6月23日(土)～24日(日)

展示期間：6月23日(土)～29日(金)※

サンフォルテフェスティバルは、県主催の男女共同参画週間*関連行事として、女性と男性が対等なパートナーとして個性と能力を発揮し、社会のあらゆる分野へ参画し、ともに役割と責任を担っていく男女共同参画社会の実現を目指すイベントです。

本学は、これまで行ってきた女性研究者支援の活動や支援策と数値の変化について表やグラフにまとめて展示をしました。また、今年1月に女性研究者支援モデル育成事業で高い評価をいただいたことや、今後も地域と連携しながら男女共同参画の推進を継続していくことを広く県民に発信しました。

女性が輝く元気企業とやま賞の表彰がありました。

女性の登用や能力の向上など、働く女性の活躍を推進する優れた取り組みを行う企業として、次の2社が受賞されました。

- ・第一薬品工業株式会社(富山市) ・株式会社富山銀行(高岡市)

※毎年6月23日から6月29日までの1週間は、男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に関する国民の理解を深めるために設けられた週間です。



募集 中

◆研究サポーター制度後期募集

平成24年度研究サポーター制度・後期利用者を募集しました。後期は14名の申請がありました。

申請資格・申請条件・申請時期

本学において教育・研究に携わる女性研究者(助手を含む)で、妊娠中または中学校入学前までの子を養育している方、または家族を介護している方が対象です。子の養育、または家族の介護をしている男性研究者も申請可能です。申請時期は、4月(前期)と9月(後期)です。

研究サポーター募集中

出産・育児・介護等で研究時間の確保が難しい研究者を有償で支援する方(学生・研究中断者等)を随時募集しています。サポーターに興味のある方は、人材バンクへ登録してください。あなたのサポートを待っています。

◆ベビーシッター・休日保育利用料補助制度

平成24年8月24日に学内グループウェア掲示板に募集案内を掲載しました。

申請資格・申請条件・申請時期

本学に勤務する常勤の教職員で、中学校就学前の子を養育している方が対象です。男性も女性も申請できます。この制度は、事前申請・立替払いによる支援です。利用の予定が決まり次第、できるだけ早く男女共同参画推進室に申し込んでください。

- 宿泊を伴う出張の場合
 - 保育所閉所時間までに帰れない場合
 - 休日に入試業務などに携わる場合
- 推進室では、特に大学入試センター試験の際の支援について検討中です。

◆人材バンク登録・利用状況

平成24年8月31日現在登録者数84件、利用件数92件(研究者情報53件・募集件数39件)

活動紹介

ピアエデュケーション活動の紹介

開催日：7月11日(水)～12日(木)



5月に養成研修を行った医学部と薬学部の学生有志19名が、ピアエデュケーターとして80名の高校生たちと向き合い、劇やグループミーティングを通じて思春期の性を考えたり生きる力を支えるための活動を行いました。

富山県立上市高等学校と富山県中部厚生センターの協力要請を受けて2日間にわたり2回の実践に臨んだ学生たちは、達成感に満ち溢れていました。

ピアエデュケーションとは…/

ピアエデュケーション(仲間教育)とは、テーマについて「正しい知識・スキル・行動を共有し合うこと」。仲間と共感しながら、堅苦しくない雰囲気の中で重要な情報を普及・啓発することを目指す活動です。

素敵な研究者の皆さんに、
ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。

「リレーでつなぐ」
ワーク・
ライフ・
バランス
vol.2



女性研究者の育成側である
「メンター」と、気持ちの切り
替えにつながる「メンタル」
ケアの重要性を認識しています。

ON
style

大学院医学薬学研究部(薬学)准教授 田 淵 明子

略歴

岡山生まれ、岡山育ち。1998年3月岡山大学大学院自然科学研究科修士、博士(薬学)取得。1998年4月より、富山医科薬科大学薬学部助手として教育研究に従事。その間、米国ジョンスホプキンス大学医学部神経科学部への留学などを経て、現在、富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)准教授。

女性研究者が家庭と仕事を両立するための時間確保や環境整備は、男女共同参画を推進する上で重要ですが、研究者の「卵」である学生を育成して、女性研究者の裾野を広げることも重要な課題のひとつかもしれません。女性研究者が研究者をめざしたきっかけやその道のりは、そのひとそれぞれで異なっており、どのようなかたちが一番良いのかを一概に説明するのは難しいといえるでしょう。今回、これまで私が歩んできた道のりについて紹介することで、少しでも女性研究者の育成や、研究者の道を行んでいく若い方の参考になれば幸いです。

私は、岡山生まれの岡山育ちで、進路を模索していた高校時代には、住み慣れた岡山の地から外に出るということは考えもしませんでした。ただ漠然と「薬開発に役に立つような研究に携わりたい」という思いがあったのを覚えています。大学生となってからも趣味のピアノを独学で弾きつつ、のんびりとキャンパスライフを堪能していました。そんな生活をしていたある日、薬学部が主催する公開講座に参加してみようと思い立ちました。そ

して実際参加して、ある話題に釘付けになりました。それは、バーバラ・マクリントックという女性研究者が「トランスポゾン(動く遺伝子)」を発見したときの経緯や、分子生物学の視点から遺伝子の動く仕組みについて概説したものでした。話を聞けば聞く程引き込まれていき、公開講座が終わったときには、この話をした先生の研究室に入って実験したいと考えるようになっていました。このときの先生が私の恩師(メンター)です。

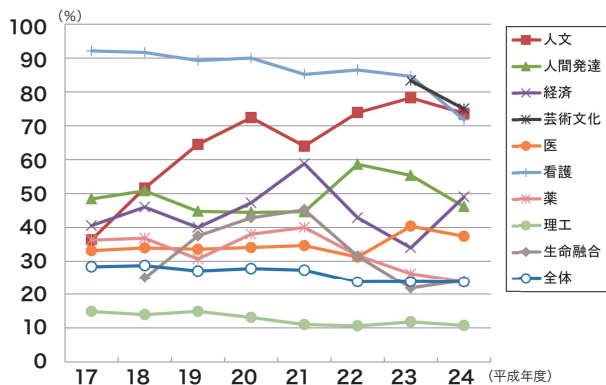
研究室に配属になり、机上の勉強だけではなく、実験科学の面白さを実感し、基礎研究の道を考え始めました。その間、メンターからは、「研究者としてどうあるべきか」についておしかりを受けることはありましたが、「女性だからこうしなければならない」という分け隔てはありませんでした。また、相談にもフランクに応じていただきました。私の気がつかないところでご苦労はきっとあったにちがいないと推察いたしますが、理解のあるメンターに恵まれるかどうか、女性が研究者をめざし、それを続けていくのに重要であると思えます。

もうひとつ、ワーク・ライフ・バランスを考える上では、気持ち「メンタル」の切り替えを素早く行う術を身につけるということも大切なのではないかと思っています。私自身、気持ちの切り替えが上手な方ではなく、いつまでも失敗をよくよ悩んでいることが多かったのですが、年齢を重ねるにつれ、それを自分で処理していく独自の方法を身につけられるようになってきました。たとえば、自宅と仕事場に向かう通勤時に仕事モードから家事モード(あるいは趣味であるピアノモード)、あるいはその逆にスイッチを入れ直して、そのときのモードに集中するようにしています。どうしても自分で悩みななどを解決できないときには、メンタル面で信頼のおける相談者がいると心強いでしょう。

私自身、理想の女性研究者にはほど遠く、達観したことはいえないのですが、「自分らしさ」を失うことなく、男女が共に輝けること、それが男女共同参画のめざすところなのかも知れないと思っています。



留学時代のOFF STYLE。得意分野はショパンで、現在、ノクターン(夜想曲)全曲マスターを目標にしています。



数字で見る 富山大学の いろいろ

【大学院女子学生の割合】

富山大学大学院には、男女合わせて約1100人の学生が在籍しています。そのうち理工が約53%を占め、薬(約16%)、医(約12%)、人間発達(約5%)と続きます。このうち、女子学生の割合をグラフにしたものが左の図です。人文、芸術文化、看護は女子学生の割合が高く、理工、医、薬、生命融合は男子学生の割合が高いといった特徴が出ています。全体では女子学生の割合が若干減少傾向となっています。(文章中のパーセンテージは、平成17~24年度の平均値です。)(図中の凡例は大学院各部局の正式名称とは異なり、分野別に分けています。)

編集後記

今年の富山の夏は、7月中旬以降、暑い日が多かったように思います。活動報告として夏季学童保育、サマーわくわく教室の様子を紹介しました。暑い最中にもかかわらず多くの方々にご参加頂き大変うれしい次第です。子供たちの興味津々な眼差しと興味を持ってからの集中力は頼もしい限りでした。



発行
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL076-445-6146 FAX076-445-6063
URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/>

